

男女共同参画学習会in美祢

「男女共同参画の視点で取り組むわが家・わがまちの防災」を開催します。

災害への備えは万全ですか？ 男女共同参画の視点で作られた防災ハンドブックを活用しながら、いざっ！という時の備えについて、この学習会で考えてみませんか。

日時 8月26日(日) 13時30分～16時

会場 秋吉台国際芸術村ホール（美祢市秋芳町秋吉50番地）

講師 三浦房紀氏(山口大学副学長、大学院理工学研究科教授)

発表 徳定自主防災組織

無料送迎

※美祢・秋芳地域にお住まいの人は、無料送迎バスをご利用ください。(申込み不要)

(往路) 美祢さくら公園(12時30分発)→秋吉公民館(12時50分発)→秋吉台国際芸術村(13時10分着)

(復路) 秋吉台国際芸術村(16時15分発)→秋吉公民館(16時35分発)→美祢さくら公園(16時55分着)



入場無料

美祢市男女共同参画プラン 原画 募集

市では男女がお互いを尊重し、学校や職場、地域、家庭の中で、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会を実現するための計画書「第2次美祢市男女共同参画しあわせプラン」を作成しています。

子どもたちがもつ、未来への夢や希望をこの計画書に取り入れるため、計画書の表紙をかざる“原画”を募集します。

【募集テーマ】

“男性と女性(男子と女子)が一緒に助けあって活動している姿、また、お互いを思いやり仲良く作業している姿”

応募資格 美祢市内に住む小学生高学年(5・6年生)及び中学生

応募方法 八つ切り画用紙の裏面に住所・氏名(ふりがな)・学校名・学年を記入し、各学校に提出してください。

なお、応募作品は返却しません。

応募規定 ①作品は本人が描いたもので、かつ、未発表のものに限ります。

②八つ切り画用紙を縦長にして、使用してください。

③原画の中に文字を含まないでください。

④画材は自由です。(絵の具、クレヨン、ポスターカラー等)

応募締切 9月1日(日) 必着

表彰 美祢市長賞 1点

美祢市男女共同参画審議会長賞 1点

発表 10月下旬

(1) 受賞作品は、計画書の表紙及び裏表紙に掲載する予定

(2) 美祢市内で実施する男女共同参画の啓発活動で展示

八つ切り画用紙

(裏面)

(ふりがな)

住所・氏名

学校名・学年

見本



申込・問合せ先 男女共同参画推進室(地域福祉課内) 〒759-2292美祢市大嶺町東分326-1
☎0837(52)5228 ☎0837(52)1490 ✉fukushi@city.mine.lg.jp

表紙の説明

長者ヶ森は秋吉台カルスト台地唯一の原生林として存在する森。

平家の一武将であった大田芳盛は壇ノ浦の戦いで源氏に敗れ、大山(秋吉台)に移り住み、次第に大山周辺を手中におさめ、広大な居館を構え、名家として近郷を圧するに至ったとされている。

しかし、三代目芳高の頃、一族の間で内紛が勃発し、一族は四散したそうである。

それから時が流れ、江戸時代に大田氏の子孫が先祖を偲んで、かつての居館跡とされる辺りに木を植えたものが、長者ヶ森の発祥であると言われている。

お詫びと訂正

先月号(7月号)の募集「平成27年度成人式実行委員」(10ページ)にて、対象者の内容に誤りがありました。正しくは以下のとおりです。

「●対象者 平成6年(1994年)4月2日から平成7年(1995年)4月1日生まれの人で、～」

大変ご迷惑をおかけしました。

まちかどホットライン

6/27 第1回美祿市総合計画審議会を開催しました。

市では平成27年度から平成31年度までの5年間を計画期間とした第1次美祿市総合計画後期基本計画の策定に取り組んでいます。

また、この後期基本計画の基本的事項を諮問する機関として、市議会議員や公募市民、関係団体の役職員など26人で構成する美祿市総合計画審議会を設置しています。

6月27日金、美祿市民会館で第1回美祿市総合計画審議会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

□会長・副会長選出 委員の互選により、会長に竹岡昌治委員、副会長に篠田貴美子委員が決定しました。

□諮問書の交付 村田市長から竹岡会長に美祿市総合計画後期基本計画の策定についての諮問書を手渡しました。

□議事 総合計画後期基本計画策定方針や今後のスケジュールについて説明を行いました。



7/9 西中国信用金庫より寄付金をいただきました。

西中国信用金庫山口地区本部本部長の山本薫氏、業務部長の岡本登氏が来庁され、「にししん文庫図書」購入のための寄付金(20万円)をいただきました。

平成21年6月の創立100周年記念事業における寄贈に続いて、西中国信用金庫誕生7周年記念事業における地域社会貢献の一環として寄贈されました。

趣旨に則り、次世代に担う子どもたちや、時代を担ってこられた高齢者の第二の人生のための書籍等の購入に活用させていただきます。ありがとうございました。



市内の文化財紹介34

木造十一面観音菩薩坐像

木造毘沙門天立像

木造不動明王立像 各1体

(美東町綾木・市指定彫刻 昭和53年3月指定)

本像は、美東町綾木大石にある万福寺の、本堂に向かって右側奥に位置する観音堂に安置されています。

中央の十一面観音菩薩坐像は、像高55.1cm、宝髻上の仏面及び天冠台上を巡って一列に並ぶ十面の菩薩(うち左側一面は欠失)は、竹の柄で地髪に植え付けられています。素木像のように見えますが、

作られた当初は彩色が像全体に施されていたようです。

向かって左の毘沙門天立像は、像高74.4cmで、頭上に宝髻を結び、天冠台を付けています。

また、向かって右の不動明王立像は、像高71.0cm、巻髪上に莎髻を置き、前面額上には金線冠をあらわしています。

作られた時期については、毘沙



門天立像の背面にある墨書銘によって、室町時代前期に作られたことが明らかであり、他の2体も同時期に作られたと思われます。

3体とも桧材の一木造りで、地方作の素朴な彫刻ですが、防長における中世彫刻の基礎資料として重要なものです。

問合せ先 文化財保護課(☎0837(53)0189)